

# ハンズオンコース 3

白水貿易株式会社協賛

## ベーシックからのステップアップ - マイクロと NT ファイルを活用する -

山田 邦晶

かおり 歯科

(松永健嗣・金沢市, 小林実・大阪市, 番匠千津・大阪市, 三木隆寛・東京都)

臨床における処置内容とその予知性の向上を目指して日進月歩、器具・器材が開発され紹介されている。最新の器具と器材を全て理解し、導入することは、ままならないと考えられますが、しかし、1つ1つを少しずつでも知り理解を深めることは、必要なことであります。それは、自医院に適したシステムの発見に繋がり今日より明日をより効果的な処置に変えて、その後の予後の向上を目指すことと、処置時の効率化も計る為でもある。日常臨床に携わる中、基本的な事項を習得し、そして、実践をする中にベーシックからのステップアップを図らなければ、解決出来ない症例も存在します。

解決策を3つにまとめると下記になる。

1. 臨床的解剖を考慮し、拡大と形成、洗浄に生かす。
2. ステップアップする為の器械と器具を装備して使い慣れる。
3. 根管系の封鎖性を増す材料の使用とテクニックを習得。

特に拡大視野を獲得することは、根管処置を行う際の患歯を処置して行く上に大きく影響を与えており、実際に処置行っていく場合に、  
・髄室の形態、髄床底の構造、髄室内石灰化物の確認  
・根管口部の位置、根管口部の大きさ、根管数の確認  
・根管内形態や厚み、根管内の石灰化物  
・根管内の汚染状態、根管内の清掃状態  
・根管内の充填物や内容物の確認  
・根尖端部付近の清掃状態  
・髄室、根管内亀裂、髄床底や根管内壁穿孔の発見と状態  
・根尖孔の大きさや処置状況、根尖孔部付近の破壊など状況、使用することにより得られる情報などのメリットは、高い。

また、拡大視野の獲得後、実際に根管の処置を進めた場合、彎曲根管処置などのステップアップが、必要な症例をこなす為に NT ファイルが、必要となることが多く、従来のオーステナイト製 RaCeFile に加え、新たに開発されたオーステナイト製とマルテンサイト製の両面を持つニッケルチタンファイル XP-endo Shaper&Finisher による拡大・形成～クリーニングまでをハイブリットテクニックにて用いることで根管充填までのステップを能率よくします。

そして、時間許せば、超音波周辺機器 CAP3・ET20D・ET25S などによる再治療を解説したい。今回、マイクロスコープの使用を中心にニッケルチタン(NT)ファイルを用いた拡大と形成をハンズオンにてステップアップする為の臨床手順等を習得していただければ幸いです。